

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で28,000cells/ml確認されました。
カレニア・ミキモトイは浦ノ内湾の広い範囲で漁業被害が想定される密度を超えていました。また、各所でパッチ状の着色部が確認されました。

今後も増殖・拡大が想定されますので、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	2m	12,000	2	0	わずか
	5m	5,000	1	4	わずか
中学校前	0m	0	3	0	わずか
	2m	20	1	0	わずか
	5m	11,000	0	3	わずか
	B-1	50	0	5	わずか
目ノクソ	0m	120	9	0	わずか
	2m	6,500	25	2	わずか
	5m	3,100	1	0	わずか
光松	0m	0	0	0	わずか
	2m	1,900	15	0	わずか
	5m	1,500	12	0	わずか
	B-1	0	0	0	わずか
大鹿	0m	0	0	0	わずか
	2m	3	25	0	わずか
	5m	400	0	0	わずか
水試小割前	0m	3,000	15	0	わずか
	2m	190	12	0	わずか
	5m	7,000	0	0	わずか
着色部	1	28,000	28	0	わずか
	2	19,000	12	0	わずか

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

